

January 2025

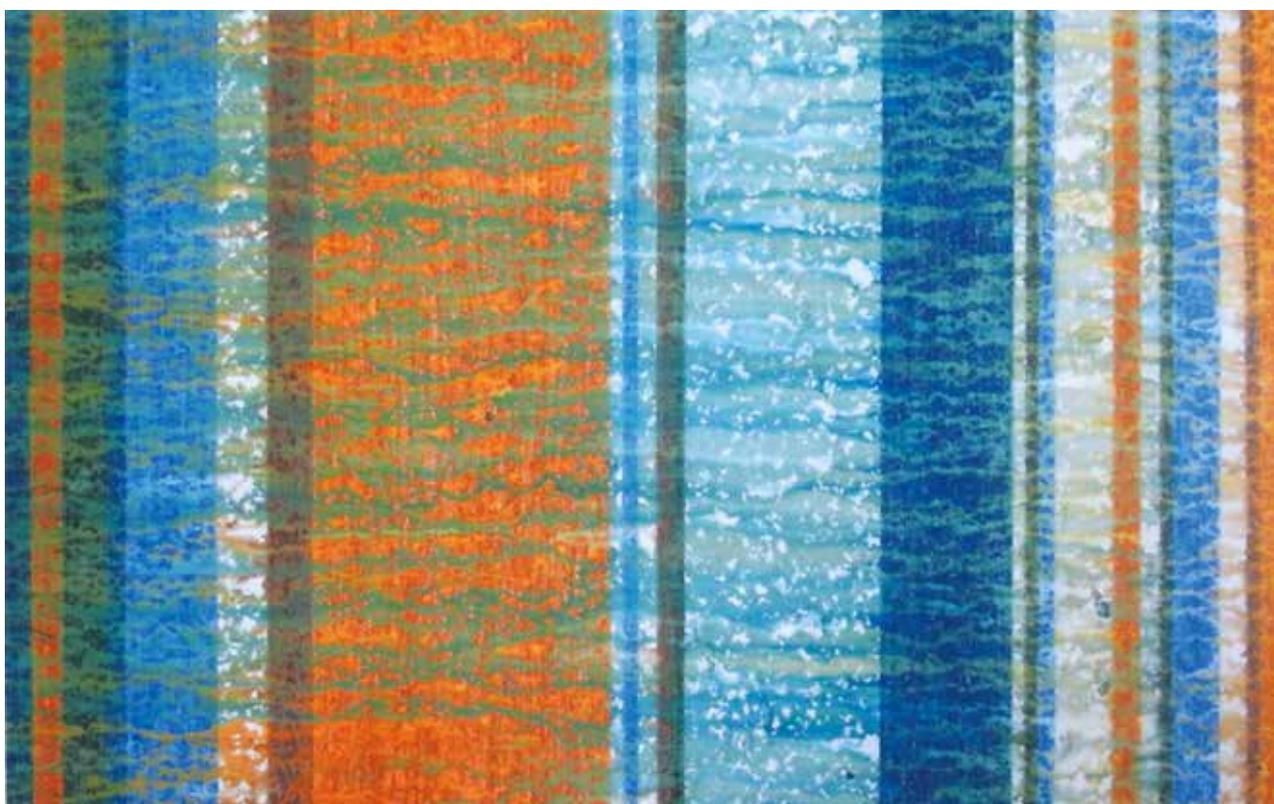
第42号

発行日 令和7年1月1日  
発行責任者 吉岡 宏幸

# ふれあい

社会福祉法人

北海道宏栄社



「表題：鉛色の雨が降る」  
画：高橋 一文

## もくじ

● 新年のご挨拶／北海道身体障害者授産施設連絡協議会施設長及び職員研修会が開催されました	2頁	● 季節を彩った特別なお食事	8頁
● 「みんなあーと2024」／萬田記念財団様より助成金をいただきました	3頁	● 医務室たより／職員研修	9頁
● 夏祭り／運動会／フライングディスク大会	4～5頁	● 快適な施設を目指して／永年勤続表彰	10頁
● 外出行事	6～7頁	● 新利用者さんの紹介／新職員紹介	
		表紙について／編集後記	11頁
		● 各施設のご案内／宏栄社の所在地／施設の利用状況	12頁

# しんねん あいさつ 新年のご挨拶

りじちょう よしむら かつゆき  
理事長 吉村 克之



あ  
明けましておめでとうございます。  
みなさま れいわ ねん しんしゅん すこ むか えの ことと およろこぶ もう あ  
皆様には令和7年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。  
さくねん かくち しぜんさいがい ほんざいじけん たはつ とし ことし へいあん だれ  
昨年は各地で自然災害や犯罪事件などが多発した年でしたが、今年はどうか平安で誰も  
えがお おく いちねん であってほしいと おも  
が笑顔で送れる一年であってほしいと思います。

さて、昨年の宏栄社事業で大きなものを振り返りますと、まず4月に新規事業として  
てんじん ちようめ きようどうせいかつえんじきぎょう (グループホーム) を かいし した方が  
天神1丁目に共同生活援助事業(グループホーム)を開始いたしました。障がい者の方が  
しせつにゆうじょう かつち きようどう ちいせいかつ おこな す げんざい ていじん めい だんせいいていじん めい じよせいいていじん  
施設入所の形でない、共同での地域生活を行う住まいです。現在、定員5名(1F男性定員3名、2F女性定員2  
めい)で、男性棟に2名が入居しています。女性棟は11月末時点でまだ入居者はおりません。

見学相談は随時受け付けておりますので、関心のある方はぜひご連絡をいただければと思います。

9月には北海道身体障害者授産施設連絡協議会の視察研修を当番させていただき、会員各位と交流を深めることが  
できましたし、高江会長様のお話には大いに啓発されました。機会を与えていただいたことに感謝申し上げます。

また、11月には長年の課題でありました新たなクリーニング工場を建てるための用地を取得することができまし  
た。

宏栄社は就労支援事業で多くの障がい者の方に利用いただいております、またホテル・病院にリネン類を提供する重要  
な役割を担っていますが、その現場である工場の老朽化が進みましたので、誰もが働きやすく生産性も上がる新工場  
を建て、一新した環境の中で地域の福祉と産業により貢献していこうと考えます。用地の取得はその第一歩で、場所  
は隣接する小樽市市民消防防災研修センター奥になります。

具体的な設計や資金手立てなどはこれからになりますが、宏栄社の明日を切り開く一大事業となりますので、数年  
計画で全力で取り組んでまいります。

このほか10月から一時的に休止しております相談支援事業所あおばも、市や関係各位のご協力を得ながら、  
来年度以降の事業再開を目指して体制づくりをしております。

こうした取組みの多くが次年度以降の未来へとつながってまいります。

宏栄社では、今年も様々な課題と向き合いながら、利用者さんとご家族、地域のために貢献すべく努めてまいります  
ので、皆様には引き続き当法人の事業へのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びにこの一年の皆様のご健康とご多幸を祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## ほっかいどうしんたいしょうがいしゃじゅさんしせつれんらくきょうぎかいしせつちよう 北海道身体障害者授産施設連絡協議会施設長

### および職員研修会が開催されました

9月12日(木)から13日(金)にかけて、北海道内で授産事業を行っている  
施設で構成されている「北海道身体障害者授産施設連絡協議会」の施設長及  
び職員研修会が北海道宏栄社で行われました。

研修では、クリーニング工場などの施設見学を行い、北海道宏栄社の事業につ  
いて説明をした後、参加者同士で意見交換を行いました。

高江会長様からは中央情勢についてのお話を聞け、大変有意義な研修となり  
ました。



# みんなあーと2024

9月14日(土)に札幌市のかでる2・7で開催された「みんなあーと2024」に当施設を利用されている米谷旭人さんが参加し、宏栄社からも職員と利用者さん数名が応援団として会場に行きました。

ステージ部門に出場しましたが、緊張せずに堂々と「愛は勝つ」を熱唱し、見事グランプリを受賞されました!!

宏栄社玄関にトロフィーと賞状を飾っていますので、来所された時にはぜひご覧下さい。

今年の出場も楽しみにしています。



## 「みんなあーと」とは?

一般社団法人北海道知的障がい福祉協会が主催している北海道知的障がい者芸術祭りの事をいいます。北海道在住の知的障がい児者の芸術活動を推進し、広く啓発するためにはじめた「みんなあーと」は2001年より開催され、昨年22回目を迎えました。

絵画や立体作品などの展示部門とダンスや演奏、歌などのステージ部門に分かれています。



## 萬田記念財団様より助成金をいただきました

施設入所利用者さんに安心して寮生活を過ごしていただくために、施設としても居室内の設備を充実させていく事を進めています。

昨年は新たな設備の購入にあたり、公益財団法人萬田記念財団様に助成金をいただきました。

その助成金で電動ベッドとマットレスを3組購入し居室に設置する事ができました。

萬田記念財団様、ありがとうございました。



(紙面担当/松本宏樹、横浜千恵)

# なつまつ 夏祭り

7月6日(土) コロナ禍でなかなかできていませんでした夏祭りを開催しました。

当日はあいにくの雨となりましたが、屋外の屋根付き駐車場と室内に飲食スペースを作り、利用者さんをはじめ、来賓やご家族、スタッフなど多くの方々が参加しました。

焼きそばや焼き鳥・かき氷などの出店のほか、型抜きやカップINゲーム(ボール入れ)で楽しんでいました。

恒例のカラオケと抽選会も盛り上がり、賑やかな夏祭りとなりました。



# うんどうかい 運動会



9月21日(土)に通所利用者さんを対象に第2回運動会を開催しました。  
 まずは運動前のラジオ体操、ラジオ体操の曲が流れると皆さん自然と体が動き出しました。  
 種目はフライングディスクなど4種目。  
 皆さん真剣な表情のプレイで、応援にも熱が入ります。  
 最後は怪我もなく笑顔で終了となりました。



# フライングディスク大会



9月29日(日)札幌市にあります「つどーむ」にて北海道障がい者フライングディスク大会が開催され、5名が参加しました。

種目はアキュラシー(円に向かってディスクを10回連続で投げて、通過した回数を競います)とディスタンス(2分30秒以内に5回ディスクを投げ、飛距離を競います)の2種目に参加、皆さん練習の成果を発揮していました!!



(紙面担当/田邊行将)

# がいしゅつぎょうじ 外出行事

さくねん なつ あき がいしゅつぎょうじ じっし  
 去年は夏と秋に、外出行事を実施しました。夏場の外出行事は気温も高かった日もありました  
 なつば がいしゅつぎょうじ きおん たか ひ  
 と夏とは違った楽しみ方ができました。今年も利用者の皆さんに楽しんでいただけるよう、

## まるやまどうぶつえん 円山動物園

(7月23日(火)実施)

この日は気温も高く暑さに少しバテている動物達もいましたが、それでも間近で見られる動物に参加した利用者さんも大満足でした。



## みち えきめぐ 道の駅巡り

(7月25日(木)実施)

今回は後志管内の道の駅へお出かけしました。天気にも恵まれ、ドライブ日和となったこの日。昼食は定食や麺類など皆さん好きなメニューを楽しんでいました。



が、<sup>ふだん</sup>普通な<sup>い</sup>かなか<sup>ばしょ</sup>行けない<sup>がいしゅつ</sup>場所<sup>りようしゃ</sup>への<sup>たの</sup>外出<sup>あき</sup>に<sup>がいしゅつ</sup>利用者<sup>こうよう</sup>さんも<sup>せいさくかつどう</sup>楽しんで<sup>あ</sup>いました。秋<sup>あ</sup>の外<sup>あ</sup>出<sup>あ</sup>では<sup>あ</sup>紅葉<sup>あ</sup>ドライブ<sup>あ</sup>や<sup>あ</sup>制作<sup>あ</sup>活動<sup>あ</sup>な  
 いろいろ<sup>あ</sup>き<sup>あ</sup>かく<sup>あ</sup>かんが<sup>あ</sup>  
 色々な<sup>あ</sup>企画<sup>あ</sup>を考えて<sup>あ</sup>いきます。



## しろ こいびと 白い恋人パーク

(11月12日(火)実施)

外<sup>あ</sup>出<sup>あ</sup>行<sup>あ</sup>事<sup>あ</sup>では<sup>あ</sup>初<sup>あ</sup>の<sup>あ</sup>「<sup>あ</sup>白<sup>あ</sup>い<sup>あ</sup>恋<sup>あ</sup>人<sup>あ</sup>パ<sup>あ</sup>ー<sup>あ</sup>ク<sup>あ</sup>」<sup>あ</sup>へ。この<sup>あ</sup>日<sup>あ</sup>は<sup>あ</sup>施<sup>あ</sup>設<sup>あ</sup>内<sup>あ</sup>の<sup>あ</sup>ス<sup>あ</sup>イ<sup>あ</sup>ツ<sup>あ</sup>ワ<sup>あ</sup>ー<sup>あ</sup>ク<sup>あ</sup>シ<sup>あ</sup>ョ<sup>あ</sup>ッ<sup>あ</sup>プ<sup>あ</sup>・<sup>あ</sup>ド<sup>あ</sup>リ<sup>あ</sup>ー<sup>あ</sup>ム<sup>あ</sup>キ<sup>あ</sup>ッ<sup>あ</sup>チ<sup>あ</sup>ン<sup>あ</sup>にて<sup>あ</sup>ク<sup>あ</sup>ッ<sup>あ</sup>キ<sup>あ</sup>ー<sup>あ</sup>作<sup>あ</sup>り<sup>あ</sup>を<sup>あ</sup>体<sup>あ</sup>験<sup>あ</sup>し<sup>あ</sup>ま<sup>あ</sup>し<sup>あ</sup>た<sup>あ</sup>。皆<sup>あ</sup>さん<sup>あ</sup>そ<sup>あ</sup>れ<sup>あ</sup>ぞ<sup>あ</sup>れ<sup>あ</sup>個<sup>あ</sup>性<sup>あ</sup>あ<sup>あ</sup>ふ<sup>あ</sup>れ<sup>あ</sup>る<sup>あ</sup>ク<sup>あ</sup>ッ<sup>あ</sup>キ<sup>あ</sup>ー<sup>あ</sup>に<sup>あ</sup>仕<sup>あ</sup>上<sup>あ</sup>が<sup>あ</sup>り<sup>あ</sup>ま<sup>あ</sup>し<sup>あ</sup>た<sup>あ</sup>。



## こうよう 紅葉ドライブ

(11月3回実施)

朝<sup>あ</sup>里<sup>あ</sup>ダ<sup>あ</sup>ム<sup>あ</sup>か<sup>あ</sup>ら<sup>あ</sup>円<sup>あ</sup>山<sup>あ</sup>に<sup>あ</sup>あ<sup>あ</sup>る<sup>あ</sup>北<sup>あ</sup>海<sup>あ</sup>道<sup>あ</sup>神<sup>あ</sup>宮<sup>あ</sup>  
 へ<sup>あ</sup>紅<sup>あ</sup>葉<sup>あ</sup>ド<sup>あ</sup>ラ<sup>あ</sup>イ<sup>あ</sup>ブ<sup>あ</sup>を<sup>あ</sup>し<sup>あ</sup>ま<sup>あ</sup>し<sup>あ</sup>た<sup>あ</sup>。昼<sup>あ</sup>食<sup>あ</sup>の<sup>あ</sup>「<sup>あ</sup>す<sup>あ</sup>た<sup>あ</sup>み<sup>あ</sup>な<sup>あ</sup>太<sup>あ</sup>郎<sup>あ</sup>」<sup>あ</sup>で<sup>あ</sup>は<sup>あ</sup>お<sup>あ</sup>肉<sup>あ</sup>や<sup>あ</sup>お<sup>あ</sup>寿<sup>あ</sup>司<sup>あ</sup>、  
 デ<sup>あ</sup>ザ<sup>あ</sup>ー<sup>あ</sup>ト<sup>あ</sup>な<sup>あ</sup>ど<sup>あ</sup>お<sup>あ</sup>腹<sup>あ</sup>い<sup>あ</sup>っ<sup>あ</sup>ぱ<sup>あ</sup>い<sup>あ</sup>に<sup>あ</sup>な<sup>あ</sup>る<sup>あ</sup>ま<sup>あ</sup>  
 で<sup>あ</sup>食<sup>あ</sup>べ<sup>あ</sup>て<sup>あ</sup>い<sup>あ</sup>ま<sup>あ</sup>し<sup>あ</sup>た<sup>あ</sup>。



(紙面担当/横浜千恵)



# 季節を彩った特別なお食事

施設利用者さんにとっての楽しみのひとつに「食事」が挙げられるのではないのでしょうか。栄養バランスを考え献立を作るのはもちろんですが、その他に1年を通して季節の食材を使った特別食を用意しています。

今回は昨年実施しました特別食を一部ご紹介します。

## フェアメニュー



- ・ちらし寿司
- ・夏おでん
- ・冷凍パイナップル

7月



- ・大豆ミートのカルビ丼風
- ・味噌汁
- ・えびちりコロケ
- ・ストロベリーゼリー

10月



- ・豆乳トマトクリームスパゲティ
- ・コンソメスープ
- ・ジャーマンポテト
- ・みかんゼリー

11月

## 行事食



- ・チャーハン
- ・ミニレモン冷麺
- ・中華盛り合わせ
- ・ラフランスゼリー

7月  
1回目



- ・鰻の柳川風
- ・つみれ汁
- ・胡瓜と揚げの酢の物
- ・カップdeヤクルト

7月  
2回目



- ・炊き込みご飯
- ・すまし汁
- ・鶏肉の南蛮揚げ
- ・スイカ

8月



- ・オムライス
- ・パンプキンスープ
- ・ハンバーグ
- ・ババロア

10月

## つきいちがい月一会



- ・天ぷらそば
- ・太巻き&いなり寿司
- ・ぷりん

7月



- ・ビビンバ丼
- ・のりスープ
- ・ラーメンサラダ
- ・アイスクリーム

8月

# いむしつ 医務室だより

新年おめでとうございます。

今年こそは、コロナ感染症が収束して穏やかな1年が送れるようになれば良いですね。ですが、コロナ感染症もまだ発生している中で、季節性インフルエンザも流行しております。

当施設では11月19日(火)にインフルエンザワクチンの集団接種を希望の利用者さん・従業員133名に実施いたしました。

今年とも感染対策にご協力いただき、安全で安心した生活を送るお手伝いをさせていただきます。



## インフルエンザの症状と 予防・対策



道民の  
みなさまへ

### 疾患の概要 知ることが第一歩

- インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気で
- 季節性インフルエンザは流行性があり、流行が始まると、短時間に多くの人へ感染が広がります。
- 日本では、例年12月～3月が流行シーズンです。

### 主な症状

- 38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れます。
- 併せて普通の風邪と同様に、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。
- お子様ではまれに急性脳症を、高齢者の方や免疫力の低下している方は二次性の肺炎を併発等、重症になることがあります。

### 感染を防ぐためにできること

#### 手洗い・咳エチケット



#### 十分な休息とバランスのとれた栄養摂取



#### 人混みや繁華街への外出を控える

インフルエンザ流行時は、特に高齢者の方や基礎疾患のある方、妊婦、体調の悪い方、高齢の方は、人混みや繁華街への外出を控えましょう。

#### 適度な湿度の保持

特に乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度(50～60%)を保つことも効果的です

#### こまめな換気を心がけましょう



冬場は暖房器具を使用しながら、換気を行ってください

#### インフルエンザワクチン接種



予防接種法に基づき高齢者等は定期接種の対象です

基本的な感染防止対策を心がけましょう

(参考)厚生労働省ホームページ

## しょくいんけんしゅう 職員研修

昨年は多くの外部講師の方に来ていただき、職員のスキルアップを目的とした研修を実施しました。

・人事考課研修(10月17日(木)実施)

・クレーム対応研修(11月7日(木)実施)

■講師：近藤日出男氏

(株式会社吉岡経営センター)

・障がい特性研修

(8月29日(木)、12月5日(木)実施)

■講師：金子宣裕氏

(社会福祉法人後志報恩会)

(障害者支援施設和光学園)

・防災研修

(10月9日(水)実施)

■講師：小林直弘氏

(小樽市消防署)



(紙面担当/松本宏樹)

# 快適な施設を目指して

昨年さくねんは施設しせつの環境改善かんきやうかいぜんのため、設備せつびの更新こうしんを行いました。

夏なつの暑さ対策あつたいさくのために多目的ホールたもくてきにクーラーくーらーを2台設置たいせっちしました。

ここでは軽作業けいさぎょうや余暇活動よかかどう・朝礼あさらいなどが行われており、利用者さんりようしゃ達も喜よろこんでくれました。

施設内しせつないの照明しょうめいをLED照明しやうめいに更新こうしんしました。今までいまに比べ施設全体くらが明るしせつせんたいくなり新しく生まれ変わったみたいでした。

工場こうじやうの玄関げんかんにフードふーどを設置せっちしました。冬場ふゆばの開閉時かいへいじに内外ないがいの温度差おんどさにより扉とびらが風かぜで押おされてしまう事ことがあり、開ひらきにくく、また、勢いきおいよく閉しまってしまことう事せっちから設置せっちしました。



7月15日(月)設置



11月23日(日)更新



9月5日(木)設置

## えいねんきんぞく 永年勤続

今年ことしは6名めいに永年勤続えいねんきんぞくの表彰ひやうしょうが行われました。

### 【コメント】

丸山 勝大

支援しえんの充実じゆうじつを図はかることを目標もくひやうに取り組んできた10年間とくでした。

更さらなる支援しえんの充実じゆうじつを目指めざしてみんなと力ちからを合わせ、頑がんば張ばっていきたいと思おもいます。

加茂 昇

みなさんの支さえがあり、続つづけられたことが一番いちばんです。

そして20年ねんはあっという間までした。

今こんご後も楽たのしみながら仕事しごとを続つづけていきます。



### 勤続20年

やみず ひろみつ じぎやうぶちやう  
鎗水 広光 (事業部長)  
か も のぼる しせつ かかりちやう  
加茂 昇 (施設課係長)  
みやざき よういち せいかつしえんか  
宮崎 洋一 (生活支援課)

### 勤続10年

まるやま かつひろ せいかつしえんかちやう  
丸山 勝大 (生活支援課長)  
あさい りやうか かんりかしゆにん  
浅井 涼楓 (管理課主任)  
にいの ちかこ せいかつしえんか  
新野 千佳子 (生活支援課)

## きぞう 寄贈

寄贈きぞういただいた方々かたがたをご紹介しょうかいいたします

日本中国料理協会小樽支部様 ..... シュウマイ 90個

北海道コカ・コーラボトリング株式会社様 ..... 清涼飲料水 120本



# しんりようしゃ しょうかい 新利用者さんの紹介



所属：北海道宏栄社（入所）

所属：宏栄セルフ（通所）

木津 俊樹さん

北川 淳一さん

木村 光貴さん

加藤 良さん

（R6. 6. 5利用開始）

（R6. 8. 1利用開始）

（R6. 8. 19利用開始）

（R6. 7. 1利用開始）

趣味：音楽鑑賞

趣味：音楽鑑賞

趣味：TV鑑賞

## しんじょくいんしょうかい 新職員紹介



たかふじ よしこ  
高藤 良子 さん  
所属：事業部  
令和6年7月1日採用

○趣味を教えてください。

茶道を長年続けてきましたが、教室が無くなったため、現在は中国茶を楽しんでいます。

○得意なことは？

人から話を聞くこと。

○最近興味のある事は何ですか？

ずっと”和”に興味があり、今は日本伝統式レイキ（エネルギーヒーリング）だけでなく、精神向上の重要性を学びます）師範を目指しています。

○一言お願いします。

伝票の種類や専門用語の多さに苦戦していますが、皆さんの仕事を売上に繋げる橋渡しとして励んでまいります。

## ひょうし 表紙について



表題：鉛色の雨が降る

### 【作品紹介】

画用紙に水彩色鉛筆を塗り本当の雨に当て、その後壁に立てかけて流しました。戦争を辞めて欲しいという思いよりこのタイトルにしました。



たかはし かずみ  
高橋 一文 さん

### 【作者紹介】

- 小樽市出身。
- 現在宏栄セルフを利用中。
- ・2018年第72回市展「教育長賞」
- ・2019年第73回市展「市長賞」
- ・2019年第94回道展「新人賞」
- ・2019年より市展委員
- ・2021年北海道現代アート展参加
- ・2023年THEY展参加
- ・2024年THEY展参加

## へんしゅうこうき 編集後記

新年あけましておめでとうございます。『ふれあい第42号』をお届けしました。

前号で予告していました夏祭りも5年ぶりに開催する事ができ、利用者さん、ご家族、スタッフ共々楽しむ事ができました。また、白い恋人パークでのクッキー作りや動物園、紅葉ドライブなど外出行事では利用者さんに喜んでもらえて大変嬉しく思います。

まだまだ寒さが厳しい北海道ですが、雪まつりや小樽ゆきあかりの路など楽しいイベントもたくさんありますので、寒さに負けないよう北海道宏栄社を盛り上げていきたいです。次号もお楽しみにしてください。【編集者代表：松本宏樹】

（紙面担当／伊藤拓也、田中治美、中村吉範、中村徹斗）

かくしせつ あんない  
各施設のご案内



しゃかいふくしほうじん  
社会福祉法人

ほっかいどうこうえいしゃ  
北海道宏栄社

〒047-0011  
おたるしてんじん ちやうめ ほん ごと  
小樽市天神2丁目8番2号



えいぎょうじかん へいじつ とうよう  
(営業時間) ■平日 8:40~17:00 ■土曜 8:40~14:50 (定休日) 日曜、元日

てんわだいひょう  
電話代表 0134-25-1551 FAX 0134-29-3284  
えいぎょうちよくつう  
営業直通 0134-31-5625 FAX 0134-33-3178

ホームページ <http://www.koueisyā.or.jp/> メールアドレス [selp@koueisyā.or.jp](mailto:selp@koueisyā.or.jp)

しょうがいしゃしえんしせつ  
障害者支援施設  
ほっかいどうこうえいしゃ  
北海道宏栄社

しょうがいのある方に、施設入所支援を提供しながら、日中活動の場として生活介護事業を提供する施設です。

●施設入所支援事業

快適な寮生活を提供します。施設内はバリアフリーで居室はすべて個室です。入浴や食事も提供します。

●生活介護事業

日常生活上の支援、創作的活動や生産活動の機会を提供し、身体機能や生活能力の向上のための支援を行います。

●短期入所事業

自宅にて病気などの理由で介護を行う事ができない場合、施設に短期入所してもらい、入浴や食事の提供をします。

しょうがいしゃしえんしせつ  
障害者支援施設  
こうえい  
宏栄セルブ

しょうがいのある方に、自宅などから通っていただき、就労に向けてのサービスを提供する施設です。

●就労移行支援事業

一般の会社に就労を希望する方に、おおよそ2年間、施設内での作業訓練や事業所での実習を行うサービスです。

●就労継続支援A型事業

障がいがある理由で一般就労が困難な方に、施設との雇用契約に基づく就労支援を提供するサービスです。

●就労継続支援B型事業

一般就労が困難な方に雇用契約は結ばず、自分の希望や体調に合わせた就労支援を提供するサービスです。

●生活困窮者就労訓練事業

就労に困難を抱えた方に状況に応じた就労の機会を提供し、生活面や健康面での支援を行います。

そうだんしえんじぎょうしょ  
相談支援事業所  
あおば  
げんざいきゅうしちゆう  
現在休止中

しょうがいのある方の生活上の困りごとや障がいについての質問、福祉サービスの利用について相談を受ける事業所です。

●一般相談支援事業

施設や病院を出て、地域で暮らすための地域移行支援・地域定着支援を行っていきます。

●特定相談支援事業 ●障害児相談支援事業

障がいのある方や児童に対して、障害福祉サービスを利用するためのサービス計画の作成や、一定期間ごとに評価(検証)を行い、サービス計画の見直しを行っています。

TEL 0134-27-4722 FAX 0134-33-1131  
メールアドレス [aoba@koueisyā.or.jp](mailto:aoba@koueisyā.or.jp)

ふくし こうえいしゃふくし  
福祉ホーム 宏栄社福祉ホーム

(居室数 14室)

しょうがいのある方にバリアフリー対応の居室を提供します。

Aタイプ(42.24㎡)とBタイプ(28.8㎡)があります。

TEL 0134-24-7551

きょうどうせいかつえんじよ  
共同生活援助  
aoba Home

(居室数 5室)

グループホームで暮らす人に対し、食事の提供や生活相談、その他の日常生活上の支援を行います。(1階:かんと 2階:のんの)

TEL 0134-64-5355 FAX 0134-33-1131

ほっかいどうこうえいしゃ しょうざいち  
北海道宏栄社の所在地



しせつ りやうじょうきやう  
施設の利用状況

(令和6年12月1日現在)

区分	定員	利用者数		
		男性	女性	合計
北海道 宏栄社 (入所)	55	43	10	53
		0	1	1
		6	1	0
宏栄 セルブ (通所)	10	9	0	9
		40	33	12
あおば ほうむ aoba Home	5	2	0	2

区分	居室数	利用中	空室
		宏栄社	6室(12名)
福祉ホーム	8室(8名)	6室	2室

※各施設をご利用希望の方は、お問い合わせください。